

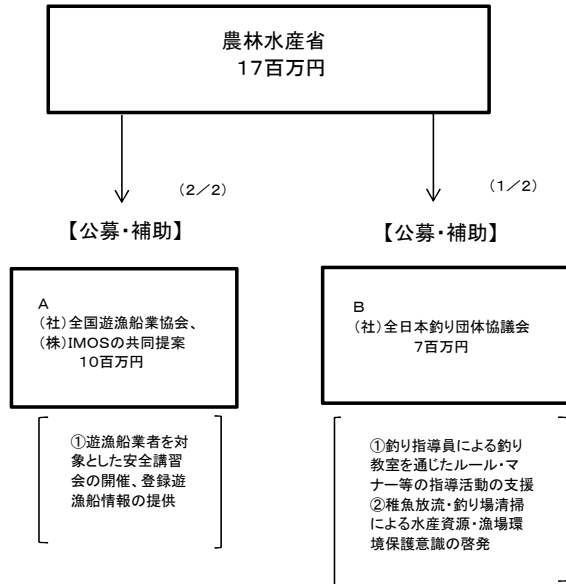
平成24年行政事業レビューシート

(農林水産省)

<b>事業名</b>		遊漁船業安全対策等推進事業		<b>担当部局庁</b>	水産庁		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>		平成21年度～平成23年度		<b>担当課室</b>	資源管理部漁業調整課		漁業調整課長 内海 和彦		
<b>会計区分</b>		一般会計		<b>施策名</b>	⑩漁業経営の安定				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>		-		<b>関係する計画、通知等</b>	水産基本計画(平成19年3月20日閣議決定)				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>		安全講習の実施等により、遊漁船の海難事故を減少させ、遊漁船利用者の安全を確保する。また、水産資源の保護及び釣り場環境の保護について遊漁者の意識の向上を図ることにより、遊漁者と漁業者の共存を推進し、水産業の健全な発展を図る。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>		①遊漁船の事故例を調査・収集し、事故防止のための対応策を検討・整理した上で、遊漁船業者等を対象とした安全講習会を実施する。(定額) ②漁場利用のトラブルを防止するため、釣りのルール・マナーを指導する釣り指導員の活動の支援を行う。(定額) ③遊漁者による釣り場清掃活動及び稚魚放流活動の支援を行う。(定額)							
<b>実施方法</b>		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		予算の状況	当初予算	27	17	17	-	-	
			補正予算	-	-	-	-	-	
			繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	27	17	17	-	-		
		執行額	27	17	17	-	-		
執行率(%)	100	100	100	-	-				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>		<b>成果指標</b>			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (23年度)
		資源管理に取り組む漁業者による漁業生産の割合 ※下段( )書きは年度目標値、上段は年度実績値		成果実績	%	-	-	55 (70)	70
				達成度	%	-	-	78.6	-
		第8次交通安全基本計画における「大規模海難発生ゼロ、死者・行方不明者220人以下」の目標達成に貢献するため、遊漁船の事故による死者・行方不明者を直近5年間の最小値未満の5人以下に減少 ※下段( )書きは年度目標値、上段は年度実績値		成果実績	人	4人 (5人以下)	1人 (5人以下)	7人 (5人以下)	5人以下
		達成度	%	100 100	100 100	100 71	-		
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>		<b>活動指標</b>			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
		遊漁船業者等安全講習会の開催回数		活動実績 (当初見込み)		18	15 (20)	21 (20)	- ( - )
<b>単位当たりコスト</b>		①5,764円(円/人) ②363円(円/人) ③1,386円(円/人)		<b>算出根拠</b>		①安全講習会開催費5,009,146円/安全講習会参加者数869名 ②釣り指導員活動事業費3,155,000円/釣り大会参加者数8,692人 ③稚魚放流・釣り場清掃・釣り教室活動費2,763,000円/釣り場清掃・釣り室参加者数1,993人 (参考:過去2年度分の単位当たりコスト) 22年度:①11,744円②197円③1,544円 21年度:①12,179円②429円③7,964円			
平成24・25年度予算内訳	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	計								

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	「レジャー白書2011」によると、釣り人口は940万人と推計されており、代表的なレジャーの一つとなっている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	釣り指導員活動事業費について、釣り大会参加者数が減少(14,564人→8,692人)したことにより、単位あたりのコストが上昇(197円→363円)したところ。
	△	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	遊漁船事故による死亡・行方不明者数について、平成23年度においては成果目標の数値を達成できなかったが、平成21年から平成23年の3カ年平均は目標値を達成している。
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>平成21年度事業で、事業実施者が事業の一部を他の2者へ委託していたことから、行政事業レビューにおいて、資金の流れを効率化するための交付ルートの見直し及び支出先の選定における競争性・透明性の向上を求められた。このため、平成22年度において、事業を3事業に分けてそれぞれの事業実施者を公募により選定した。この結果、事業実施者に直接資金が交付され、資金の流れが効率化されたこと、また、3事業のうち1事業において2者の応募があったことから、競争性・透明性の向上が図られたところ。</p> <p>平成23年度においては、予算監視・効率化チームの所見を踏まえ、旅費、印刷製本費、会議費の見直しを行い、コストの削減を図った。</p> <p>本事業は、遊漁船の事故防止を図るとともに、遊漁船利用者を始めとする遊漁者の安全対策等を図るものであり、広く国民のニーズに応えるものとなっている。</p> <p>本事業の実施により、遊漁船の事故による死亡者数の減少を図るとともに、釣りのルール・マナーの啓発を行うことにより遊漁者と漁業者との漁場利用をめぐるトラブルの減少を図った。また、稚魚放流・釣り場清掃により青少年に対し水産資源の保護意識の啓発を図った。</p> <p>事業最終年度における遊漁船による死者・行方不明者数は目標を下回ったものの、3カ年平均で4人と目標値の5人以下を達成した。また、本事業で作成した遊漁船事故情報分析情報により、遊漁船による事故の要因分析を行った。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
—	<p>本事業は、23年度で終了の事業であるが、当該年度においては、資金の流れのAについて、2年連続で1者応募である。また、単位当たりコストが増加しているものがある。また、成果指標について、目標値を下回っている。以上のことから「支出先の選定における競争性・透明性の一層の向上」、「単位当たりコストの削減」、「成果目標達成のために事業内容の見直し」を行うべきであった。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
(23年度限りで)	平成23年度限りで終了		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	468	平成23年行政事業レビュー	0336

※平成23年度実績を記入



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の金額  
 が支出されている者  
 について記載する。  
 費目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A. (社)全国遊漁船業協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	庶務・管理部門、遊漁船安全講習会講師(嘱託)	3			
旅費	遊漁船等安全対策検討会(2回)、安全講習会旅費	3			
賃金	登録遊漁船情報コンテンツ作成	1.1			
その他	委員謝金、遊漁船安全講習会テキスト印刷費、会議費、発送費、消耗品費、事故情報収集旅費、通信運搬費	1.0			
計		8	計		0
B.(社)全日本釣り団体協議会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	釣り指導員派遣旅費	2			
人件費	事務局人件費	2			
稚魚代	稚魚放流経費	1			
その他	会議開催経費(謝金、旅費、通信運搬費等)、ゴミ袋	2			
計		7	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)全国遊漁船業協会	遊漁船安全対策事業(遊漁船業者等安全講習会)	8	1	100
2	(株)IMOS	遊漁船安全対策事業(遊漁船事故情報収集・分析)	2	1	100
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)全日本釣り団体協議会	釣り指導員活動事業、水産資源保護啓発事業	7	3	100
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					